

## 重点課題

いじめ対応力の向上（いじめを生まない学校経営力・学級経営力）

### 生徒指導・支援の充実に向けて



水戸教育事務所生徒指導班では、今年度も加配教員（生徒指導主事等）が配置されている40校の小・中・義務教育学校を訪問させていただきました。ここでは、「生徒指導の実践上の視点での授業づくり」、「校内フリースクールの取組」の2点について、紹介させていただきます。

#### ○ 生徒指導の実践上の視点での授業づくり

学校教育指導方針の5ページには、児童生徒が安心して学べる「魅力ある学校・学級づくり」の推進が掲げられました。昨年度に引き続き、生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた、「教科指導と生徒指導を一体化させた授業づくりの推進」が一層大切となっています。

#### 【小学校の取組】

- 年度当初の校内研修の充実
    - 〈4つの視点を意識した授業づくりの研修〉
    - ・4つの視点での授業の具体例を共有
    - ・4つの視点を意識した児童サポートシートの作成
    - ・授業について実施と振り返り
- 参観させていただいた小学校1年生の授業の、担任の先生の笑顔と明るい言葉かけや児童が友だち意見を聞き合い学び合っていた様子から、研修の成果が感じられました。

#### 【中学校の取組】

- 客観的な数値を活用した環境づくり
- 生徒にとってよりよい環境づくり、特に安全・安心な環境づくりを推進していました。具体的には、学校の雰囲気について、「安全、学習、関係性、環境」の観点で、生徒にアンケートをとり、それを職員で共有し、学校の取組の改善につなげています。学校職員からは、我々が感じること以外の数値から見える課題等を改善し、生徒の「安全・安心」につなげていきたいという言葉がありました。

### 【生徒指導の実践上の4つの視点】



- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1 自己存在感の感受を促す授業づくり | 2 共感的な人間関係を育成する授業       |
| 3 自己決定の場を提供する授業づくり | 4 安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業 |

#### ○ 校内フリースクール（以下:校内FSとする）の設置推進

今年度管内の多くの中学校において、校内FSが設置され、不登校生徒への多様な支援がなされていました。特に「不登校児童生徒支援加配」を受けた中学校では、学校の実態に応じた支援、環境整備、関係機関等の連携が促進されていました。

令和6年度長期欠席（不登校等）児童生徒に対する援助指導状況調査報告書の分析結果（11月時点）から、校内FSを設置している自治体で、顕著な傾向として次の3つの成果が出ております。

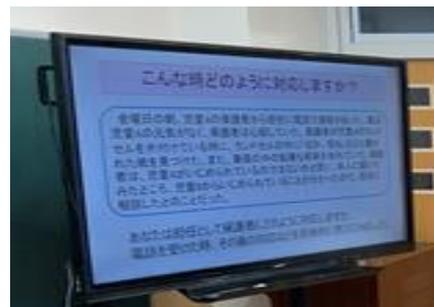
- ①30日以上89日以下の不登校児童生徒数の減少
- ②新規の不登校児童生徒数の減少
- ③学級復帰、学校復帰の割合の増加



今後も、各学校におかれましては、引き続き、校内FSの場も活用しながら、一人一人のニーズに応じた多様な学びの場、居場所の確保にご尽力くださいますようお願いいたします。

## 生徒指導訪問（要請）について

水戸教育事務所では、学校からの要請を受けて、生徒指導訪問（要請）を行っています。



### 【訪問の内容】

- ①生徒指導に係る校内体制づくり等に関する指導・助言
- ②生徒指導上の諸問題の未然防止や早期対応検討への参加及び指導・助言
- ③配慮を必要とする児童生徒に係る事案についての事例検討への参加及び助言・指導
- ④研究団体等の設定した研究課題やテーマ、研究内容等に対する助言等

1月は、茨城町立長岡小学校で【保護者との信頼関係づくり】について研修を行いました。私たち教職員は、子どもたちの健全な育成を目指して、保護者等とも連携して日々教育活動に取り組んでいます。中には、十分な連携が取れず、保護者等との間に誤解が生じてしまうこともあります。子どもたちの成長を支援するためには、教職員と保護者がよきパートナーとして信頼関係を築くことがとても大切です。

今回の研修では、保護者との信頼関係づくりの基本的な考え方等について確認をしたり、事例を基に先生方で積極的に意見交換を行ったりすることができました。



訪問先：茨城町立長岡小学校 インプットとアウトプットのバランスのよい研修となりました。

### 【先生方の感想より】



☆初期対応の大切さを改めて感じました。

☆保護者との信頼関係を築くためには、想像力を働かせ、受容することが大切だと感じました。

☆講師の先生の経験等も交えながらお話いただいたことや、身近なテーマについて話合いの時間を持つことができたことで大変勉強になりました。

☆保護者との信頼関係を築くために、受け身ではなく積極的にアプローチしていけるようにしていきたいです。

☆自分の保護者への対応を振り返ることができました。また、経歴が様々な先生と話し合うことで、自分が経験したことがないことも学ぶことができ、シュミレーションする機会となりました。

